

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



※2 SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールで構成され、発展途上国のみならず、先進国自身も取り組むユニバーサル(普遍的)なものです。

日本でも政府や地方自治体、経済界、市民団体など、国全体として推進していくこととしています。

## 時代に先駆け、まちづくりを進化

新元号のもと新たな時代が幕を開けます。グローバル化やテクノロジーの進展、人生100年時代の到来など、私たちを取り巻く環境が変わっていく中、東京オリンピック・パラリンピックや北陸新幹線小松開業、大阪・関西万博など、大きなチャンスが切れ目なく訪れます。これらをまちの成長につなげ、北陸で際立つ「国際都市こまつ」へとグレードアップしていきます。

まちづくりの主役は、市民一人ひとりです。すべての人が輝き、笑顔があふれるよう、“学び”を中心とした“ひとづくり”に取り組みます。

### SDGsと施策を連動

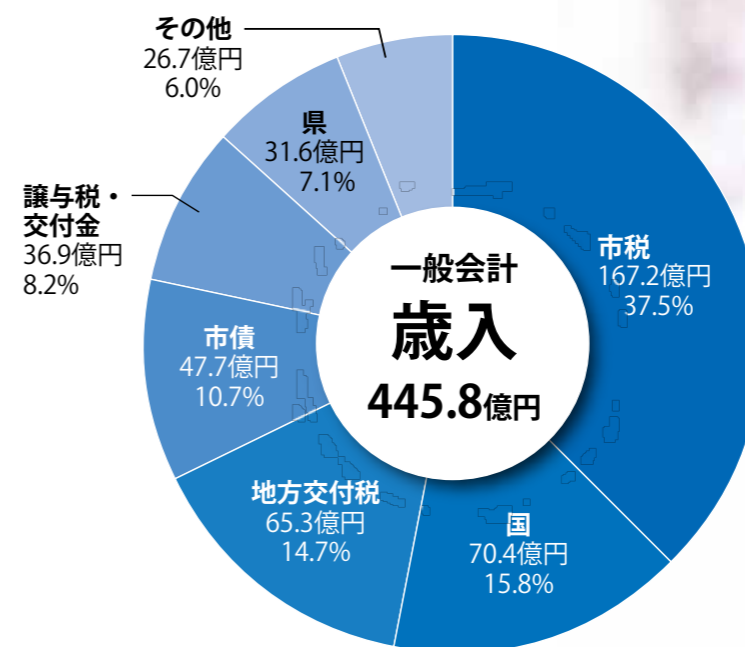
国際社会共通の目標である「SDGs※2」のめざす方向性が小松市の政策と合致し、また本市は全国的にも先進度が高いと評価されています。SDGsと市の様々な施策をリンクさせながら、市民や団体、事業者、研究機関などの皆様と共に、まちづくり・地域づくりを進めていきます。

# 新時代の幕開け 北陸の際立ったまち 「国際都市こまつ」へ

問い合わせ 財政課 ☎24・8144

全会計総額 **984.9 億円**

## 一般会計



### ◆歳入の特徴

市税は、雇用・所得環境や企業業績の堅調な推移、家屋の新増築により6.0億円増の167.2億円(前年比+3.7%)となる一方、地方交付税は、税収の伸びや市債返済額の減少により、臨時財政対策債※1を含む実質ベースで7.2億円の減となっています。

※1 臨時財政対策債…本来、地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する市債

## 特別会計

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	104億7,250万円	0.3%
介護保険事業	100億5,800万円	1.2%
公債管理	90億0,050万円	▲1.0%
産業団地事業	3億7,150万円	8,155.6%※3
後期高齢者医療	15億2,200万円	4.5%
<b>合計</b>	<b>314億2,450万円</b>	<b>1.60%</b>

※3 団地分譲に伴う市債の返済が主な内容です

## 企業会計

会計名	予算額	対前年比
水道事業	43億4,420万円	17.8%
下水道事業	87億2,930万円	▲11.0%
病院事業	94億1,200万円	▲5.9%
<b>合計</b>	<b>224億8,550万円</b>	<b>▲4.3%</b>

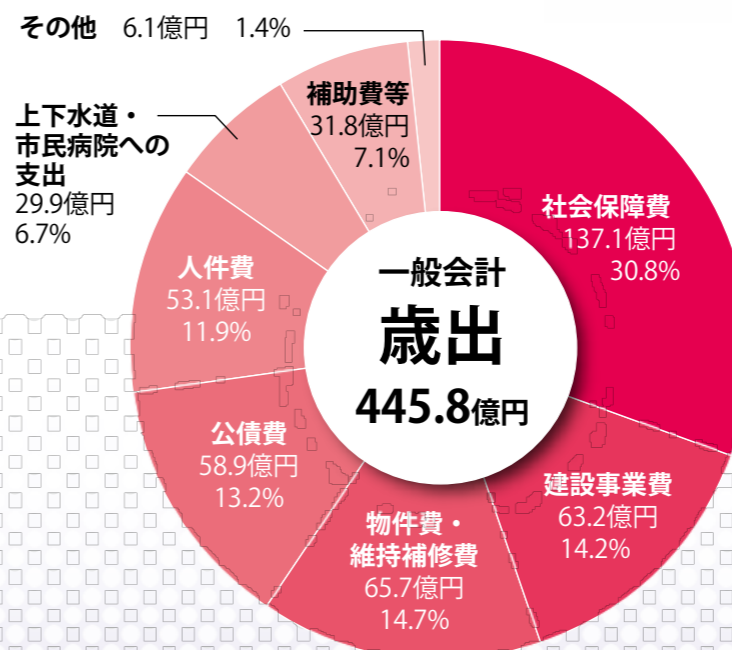
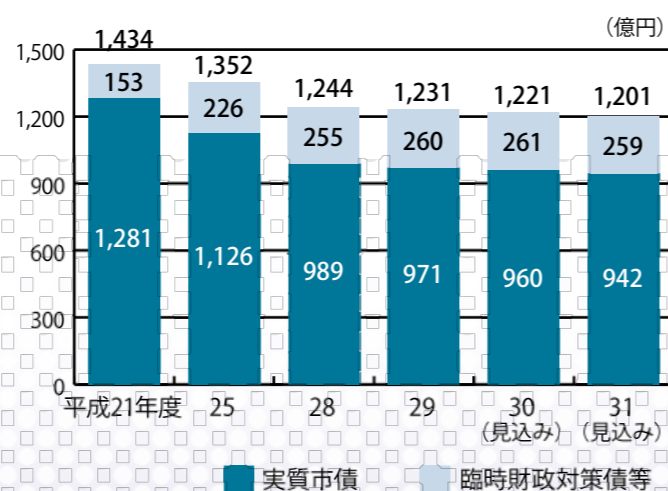
◆特別会計…国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計とは別に保険料などの収入を集めて運営する事業

◆企業会計…料金収入を集めて民間企業のように事業収益で運営する事業

## 市債残高の状況

小松市の市債残高は、市債発行の抑制や繰上返済などにより、平成21年度の1,434億円をピークに減少に転じています。平成31年度は、全会計ベースで約20億円の改善を見込んでおり、10年間で将来負担軽減200億円の目標に対し、約233億円改善できる見込みです。また、国の地方交付税の財源不足により地方自治体に発行させる臨時財政対策債等を除く実質市債ベースでは、約339億円改善する見込みです。

負債の削減は重要な課題であり、引き続き安心の財政基盤に向け将来負担軽減に努めます。



### ◆歳出の特徴

社会保障費は、幼児教育・保育無償化に伴う支出や、障がい者自立支援費・介護保険への繰り出しなど、6.8億円増の137.1億円(前年比+5.2%)。投資的経費(建設事業費)は、エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの竣工などにより、20.9億円減の63.2億円となっていますが、企業会計分などを含めるとおおむねここ数年と同程度です。公債費(市債の返済費)は、民間資金の活用や、これまでの繰上返済などによる市債残高の圧縮により、3.0億円減の58.9億円(前年比△4.9%)となっています。



# 家族みんなの 笑顔あふれる未来へ —主な施策の概要—



## 7 安全・安心のまちへ



- 救急車5台体制に伴う整備、心電図機能付AED、AI通訳機の配備等……868万円
- 最新式消火機材の導入等……750万円
- 橋にかかる水道管の点検調査……2,800万円

## 8 祝“新元号”



- 改元メモリアルウォーキング(4/29 木場瀧公園)、市制80周年プレウォーキング(10/14)……460万円
- 新元号記念消防観閲式(5/2 小松天満宮)……70万円
- 文化の華咲く小松 新元号を祝う集い(5/2 公会堂)……300万円
- 日本子ども歌舞伎まつりin小松(5/5~6 うらら)……1,600万円
- 子ども園等での記念植樹(4~5月)……130万円
- 絵本原画の世界展(7~11月)……425万円

## 9 国第2次補正予算関連 (平成30年度3月補正)



- プレミアム付商品券の発行(20,000円+プレミアム5,000円)(住民税非課税者・0~2歳児のいる世帯)……700万円[2019年度 1億3,400万円]
- 国土強靱化対策(能美大橋の架け替え、消雪井戸・パイプの更新、今江春日神社線の拡幅など)……1億2,600万円

## 5 地域で 世界で 活躍する 学びのまちへ



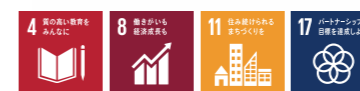
- (1)市民力を生かした地域づくり
  - 地域ビジョン策定、地域交通導入など地域協議会の活動を支援……2,100万円
  - 公民館の改修、救命器材購入など地域拠点の充実、共助活動の支援……3,600万円
  - 老人クラブ加入率アップで地域を豊かに……500万円
- (2)智仁勇とチャレンジする子どもの育成
  - 2021年4月開校の義務教育学校「松東みどり学園」の整備……4億7,300万円
  - 2020年必修化プログラミング教育を先行実施……130万円
- (3)学び直しで生涯を通じたひとづくり
  - アカデミックな学びの拠点「こまつ市民大学」第2期(2019.9~2020.8)……800万円
  - 芦城センターの全館改修……1億4,400万円

## 6 人と環境にやさしいまちへ



- (1)出産・子育てしやすい環境の整備
  - 幼児教育・保育無償化(10月~)……4億4,000万円
  - 子ども医療費の充実(10月診療分から柔道整復師の施術費の窓口無料化等)……3億9,800万円
  - 妊産婦・乳幼児健康診査の充実(新生児聴覚スクリーニング検査助成等)……1億2,200万円
- (2)人生100年時代の健康づくり
  - がん検診の充実(内視鏡胃がん検診対象拡大等)……8,470万円
  - 高齢者総合相談センターの機能強化(フレイル(虚弱)予防機能強化等)……1,370万円
  - 市民病院電子カルテシステム更新……4億3,000万円
- (3)環境にやさしいまちづくり
  - ごみ日中収集化に伴う集積場設置補助……2,000万円

## 3 和文化の華咲くこまつ



- 奥の細道紀行330年記念事業、第14回義経サミット、寺町サミット……700万円
- 勲進帳ものがたり館リニューアル、連絡通路整備……7,800万円
- 安宅公園のリニューアル(設計)……1,400万円
- 古墳をテーマに加賀国府の魅力発信(能美市と連携)……200万円

## 4 たくましい産業の創造



- (1)未来を切り拓くものづくり
  - 経営モデルチェンジ支援、大学などとの共同研究促進等……2,500万円
  - 多様なニーズに対応した企業立地・設備投資への助成……7,800万円
- (2)ものづくりのDNAを次の世代へ
  - 産業遺産「遊泉寺銅山跡」の遺構をモニュメントとする整備を支援(企業版ふるさと納税を活用)……1億2,020万円
  - CERABO KUTANIを活用した九谷焼の魅力発信、人材育成(能美市と連携)……2,170万円
- (3)里山・里海の恵みを生かしたブランドづくり
  - 獣肉加工施設を拠点としたジビエの推進……1,720万円
  - 伝統的古民家等を活用した観光交流、宿泊施設の整備(大杉地区、滝ヶ原地区)……1億2,400万円
  - 企業・市民との共創による安宅海岸の松林整備……1,400万円

## 1 北陸の際立ったまち 「国際都市こまつ」へ



- (1)多文化共生・異文化交流で新たな価値を創造
  - 外国人サポートデスク、外国人暮らし相談窓口を設置……2,100万円
  - 子ども園等の保育補助員を加配……390万円
  - 小中学校の日本語支援員を増員……1,700万円
- (2)オリンピック・パラリンピックを通じたひとづくり・まちづくり
  - 3種目6カ国の事前合宿を受け入れ、市民サポーターの活動推進……600万円
  - ラグビーワールドカップパブリックビューイングの実施等……745万円

## 2 北陸の成長をリードするまちへ



- (1)人と文化が行き交う南加賀のターミナルへ
  - 北陸新幹線小松開業プロモーション、能美市と連携した鉄道利用の拡充等……1,450万円
  - 小松駅プロムナードの設計……1,800万円
  - 北国街道(龍助町~西町間)の無電柱化の推進……2億5,570万円
- (2)新しい人の流れを加速
  - 公立小松大学の末広キャンパス・粟津キャンパスの整備……10億4,640万円
  - クラウドファンディングを活用し駅周辺を活性化(まちづくり市民財団へ出資)……1,000万円(3月補正)
  - 都市部からの移住・定住支援……300万円
- (3)まちの成長を支え、人びとが集まるまちへ
  - 「NEW臨空ゾーン」の有効活用に向けた調査など……1億円
- (4)美しく品格のあるまちへ
  - 「勝利と笑顔のローズガーデン」の整備等……3,740万円